

令和4年度 学校経営方針

1. 教育目標

「豊かに・いきいき・つつじっ子」

2. めざす子ども像、教職員像、保護者・地域像

- 子ども像 **夢と希望をもって生き生きと（自発的に）活動する児童（小中一貫）**

「ともに学び合い高めあえる子」（まなび合い）

「自分のことが好きと言える子」（自分愛）

「目標を持って前向きに取り組み助け合える子」（助け合い）

- 教職員像 **気持ちのそろった教職員**

チーム力を引き出すリーダーシップ

信頼感にもとづくチームワーク

学び合い育ちあう同僚性

- 保護者・地域像 **小・中学校を核にしてつながり合う保護者・地域 スクール・コミュニティ**

3. めざす学校像

「みんなが安心して登校、満足して下校できる学校」

4. 経営方針

戦略的で柔軟な学校経営・運営に努める。

(1) 「子どもたちのためにできることはやっぴいこう」という「気持ちのそろった教職員」をめざす。

(2) 多様な学びを促進する授業づくりや学級づくりで、新しい南中学校区文化の創造に取り組む。

(3) 保護者や地域に開かれた学校づくりをすすめて、熟議・協働し、子どもたちを育成する。

5. 重点努力目標

- (1) **ユニバーサルデザインの授業による基礎・基本の定着と、自ら学ぶ資質・能力の育成** 「知」

① 基礎・基本の学力（読み・書き・計算）を明確にし、家庭との連携による確実な習得をめざす。

② 毎時間のめあてを明確にし、見通しを持った授業づくりをめざす。ユニバーサルデザインの授業により、すべての子どもの理解を図る。ふりかえりにより学習の定着を図る。

③ すべての教科で言語活動（コミュニケーション）の充実に取り組む。

④ 相互の学び合いにより、「できる、わかる、認められる」場の設定を行う。

- (2) **人権尊重の意識と実践力および豊かな人間関係の構築** 「徳」

① 教育活動全体を通じて、一人ひとりの存在や思いが大切にされ、一人ひとりの違いを認め合い、高め合うなかまづくりをめざす。

② 「自分がされていやなことは、人にはしない、言わない」「おはよう」「ありがとう」の心の定着をめざす。（人を大切にすることは「言葉」から）

③ 道徳の学習と日常生活とを密接に結びつけながら、葛藤場面をとおして豊かな心情と正しい判断力を養い、主体的に実践する力を育てる。

- (3) **たくましい体と基本的な生活態度の育成** 「体」

① 早寝・早起きなどの基本的な生活習慣や、時間を守り、学習と遊びのけじめをつけるなど学校生活を主体的に作り出す実践力や学習規律を身につける。

② 外遊びの奨励を通して、運動に親しむ習慣を身につけさせ、健康の増進・体力づくりに取り組む子どもを育成する。

- (4) **保護者、地域との相互理解と熟議・協働の推進**

① 家庭・地域との連携を密にし、情報の共有に努める。

② 学校と家庭・地域との対話を大切にし、子どもの育ちを多角的にサポートする。

③ 南中学校との協働を積極的にすすめる。

④ 地域ぐるみであいさつの習慣をつける。